

平成 21 年 7 月 30 日

路木ダムを考える河浦住民の会代表	小川 浩治 様
同上	代表 若杉 数太 様
天草の海を考える会	代表 植村 振作 様
天草市民オンブズマン	中田 統 様

熊本県河川課長

水道未普及地域写真の削除等の申入れ書について（回答）

平成 21 年 7 月 23 日付けの申入れ書について、知事の指示により河川課でお答え致します。

路木ダムは、治水と利水を目的とする多目的ダムで、利水においては、天草市水道事業として、牛深地区および河浦町一町田地区を対象に、日量 4,600 トンの取水を計画しており、これまで地元から幾度も事業促進に向けた要望が行われるなど、早期完成が待ち望まれております。

今回の TV 番組及び住民監査請求の際に使用した 2 枚の写真は、河浦町の水道未普及地区のもので、その水源や水質の現状を分かりやすくイメージして頂くために、例示したものです。「濁り水の写真」は、河浦町古江の下小組 10 軒のうちの 1 軒で、また、「沢の写真」は、河浦町水の浦で撮影したものです。

2 枚の写真で伝えたかった趣旨は、この地域の水源である地下水と沢水の水質が悪く量的にも不安定であるということで、水道未普及地区では、概ねこれらの写真と同じような状況にあり、不安や不便を感じられておられる方々が依然としていらっしゃいます。

路木ダムは、水道未普及地区のみならず、牛深地区や河浦町一町田地区の水道普及地区に対し、渇水時においても安定的な水源を確保し、住民生活の向上や地域産業の活性化にも寄与できる最も効果的で効率的な手法と考えています。

以下、申入れ書にある 5 項目のご指摘について、ご説明します。

申入書にある5項目のご指摘

知事は濁り水の写真の現場には行っていない。

沢の写真は久留地区「水の浦」であり、濁り水の写真は久留地区「古江」であって、両者の距離は直線で約1.7km離れており、二つの水源が混合水源となることはありえない。事実、混合されていない。

沢の写真に写された沢水は水源としては使われていない。「水の浦」の水源は知事が用いたフリップの右側の沢水写真地点より約200m上の杉林の中の岩清水(地元住民談)他である(写真2)。

濁り水の方は、地下水と沢水との混合水の状況写真ではなく、個人が単独で設置している井戸水の汲み上げ設備の鉄分を含む廃水を排出している状況写真である(写真3及びろ過槽逆洗状況模式図)。

濁り水の写真は、県から天草市河浦支所へ、「濁った水の写真好いかな」と問合せがあったので、河浦支所職員が廃水を捨てる時の状況を撮ったものである。

上記5項目のいずれも、6月10日のTV番組等での県の説明と使用した写真に対するご指摘であり、TV番組では限られた時間で、県の意見や説明などが十分に尽くされたものではありませんが、当該番組での知事の説明した内容をもとに説明いたします。

知事説明(テープ起こし)

「これは私自身が河浦町へ行ったときに見た光景なんですけれども、水をですね、こういう沢から取ってらっしゃいます。こういう沢で。そして、地下水と沢から取ったそういう混合の水が、こういうすごく濁ってるんですね。こういう人達がまだ熊本県にいらっしゃる。そして、この沢から取らなければいけない状況にある人たちがいらっしゃる。それを、私は行政としてどうかしてやりたい。」

について

知事は、河浦町のこの沢へ行ったことを述べていますが、「濁り水の写真」の現場へ行ったとは発言しておりません。

について

二つの写真に写された地区の水が混合されているとは説明しておりません。水源である地下水と沢水の水質が悪く、量的にも不安定であるということ伝えるために、例として、「水の浦」地区の「沢の写真」と「古江」地区の「濁り水の写真」をそれぞれ用いたものです。

について

「沢の写真」で伝えたかったことは、こういう水質が悪く、量的にも不安定な水を水源としなければならない状況にあるということです。現に、写真で説明した沢から取水しておられることから、使用した写真と説明には不整合はありません。

について

「濁り水の写真」は混合水ではなく、除鉄機の洗浄用の排水管からの水を撮影しています。伝えたかったことは、水源である地下水の水質が悪いということで、7月14日に県と天草市で除鉄機を通過する前後の濁度を測定しましたが、原水はもとより、除鉄機通過後も、水道の水質基準を大きく超えています。

について

「濁り水の写真」については、この地域の水源の水質状況を伝えるために、県から天草市に対して、「6月3日に他局で放送された民家の状況」の撮影を依頼したものです。

以上、ご指摘に対して県の考えをご説明いたしましたが、2枚の写真は、水源である地下水と沢水の水質が悪く、量的にも不安定であることをご説明するために使用したものです。申入れ書にある「意図的に事実を反する状況写真を使用して、県民及び県監査委員に路木ダム建設の必要性を訴えた」ものではありません。

県としては、路木川沿川の治水安全度の向上と、平成26年度の供用開始を目指す天草市（牛深地区及び河浦町一町田地区）の水道事業に向けて事業を推進していくこととしておりますので、どうぞ、ご理解を頂きますようお願い申し上げます。